



みなと Vol.5



長かった夏休みも終わり、8月27日から学校が再開しました。今年の夏は昨年よりも気温の高い日が続き、温度計が40度を示す地域もいくつか報道されていました。地球環境問題に無関心ではいけないことを身近に感じた夏休みでした。

学校再開初日の全校集会では、今年の夏、日本は戦争が終わってから80年目を迎えたという話をしました。日本が80年前に戦争をしていたことを話すと、子ども達は少し驚いた顔をしていました。そのような状況の中で、本当に食べるものもなく人々が苦しんでいたこと、日本に原子爆弾が落とされたことについて簡単に触れました。話を進めていくうちに、戦争はよくないことであり、国民が一番の犠牲者になることを子ども達はわかっていることが感じ取れました。

現在、92歳で越前市在住の方が話された戦争中のことをまとめた新聞記事を全校児童の前で読みました。当時は12歳（小学6年生）で、かなりの食糧不足であったため学校ではほとんど勉強をせず、イナゴやタニシ、ミミズ、カエルなど食べられそうなものをもってきては焼いたり、干したりしたそうです。今では全く想像もつかない生活の様子に真剣な眼差しで子ども達は聞き入っていました。夏休み中、湊公民館では戦争に関する催しが行われ、参加した児童は直接自分の目と心で戦争を感じ、戦争そのものについて深く考える機会がありました。

今、平和に暮らせていることをたどると、日本にも大変な時代があり、多くの犠牲があつての平和であることを子ども達は集会の話を通して感じる事ができたようです。そのような経験をした日本の世界における役割は、戦争の悲惨さを後世に伝え、平和を訴え続けることであることを私たちは忘れてはならないと私自身改めて感じました。

以下、現在の子どもの様子です。暑さに負けず、勉強も遊びもがんばっています。

昼休みはグラウンドで遊び、その後、掃除もがんばりました



1年生：発育測定 2年生：国語（新しく習う漢字）の授業



3年生：体育の授業 4年生：理科（星座）の授業



5年生：家庭科（ミシン）の授業 6年生：ICTを使った授業



1年生の発育測定では、計測だけではなく、身のまわりの危険な場所や遊びについても考えました。2年生は、難しい漢字が増えてきましたが、書き順に気を付けて練習をしていました。3年生はチームに分かれ、手をつないだまま輪くぐりにチャレンジ。チームで工夫をしないと、途中で輪がストップしてしまいます。4年生では、月や星の勉強をしています。先日の皆既日食の話題も話に出ていました。5年生では、ミシンにチャレンジ。まずは、ミシン操作の手順を練習していました。6年生では、タブレットを使って図で関係性を書き表す練習をしていました。どの学年も、とてもよくがんばっています。